



平成 20 年 9 月 16 日

各 位

株式会社 B B H

代表者名 代表取締役社長 田原 弘之

(コード番号:3719)

問合せ先 管理本部長 齊藤 茂行

電話番号:03-3544-6631

(訂正) 平成 20 年 12 月期中間決算短信の訂正に関するお知らせ

平成20年8月15日に発表いたしました「平成20年12月期中間決算短信」に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

【訂正理由】

平成 20 年 12 月期中間期末における損益計算書上の「販売管理費及び一般管理費」および「特別利益」の計上額に誤りがございましたので、中間連結財務諸表並びに中間財務諸表を訂正いたします。

これは、ストックオプションの費用処理におけるボラティリティの計算方法について、監査法人の監査中に当社が採用した計算期間の変更を指摘されたため、その修正を行うことと致しました。その結果、株式報酬費用として販売管理費及び一般管理費に 12,237 千円を計上したことによるものです。

また、第 2 回新株予約権の期間満了及び消却の計算において、新株予約権戻入益 10,239 千円が未計上であることが監査法人の監査の中で判明したことにより、当該新株予約権戻入益として特別利益に計上したことによるものです。

【訂正内容】

(1) 1 ページ目「1. 平成 20 年 6 月中間期の連結業績 (1) 連結経営成績」の 20 年 6 月中間期欄

【訂正前】		【訂正後】	
営業利益	△185 百万円	営業利益	△197 百万円
経常利益	△175 百万円	経常利益	△187 百万円
中間 (当期) 純利益	△199 百万円	中間 (当期) 純利益	△201 百万円
1 株当たり中間 (当期) 純利益	△24 円 67 銭	1 株当たり中間 (当期) 純利益	△24 円 91 銭

(2) 1 ページ目「1. 平成 20 年 6 月中間期の連結業績 (2) 連結財政状態」の 20 年 6 月中間期欄

【訂正前】		【訂正後】	
自己資本比率	44.1%	自己資本比率	44.0%
1 株当たり純資産	150 円 17 銭	1 株当たり純資産	149 円 95 銭
(参考) 自己資本 20 年 6 月中間期	1,359 百万円	(参考) 自己資本 20 年 6 月中間期	1,357 百万円

(3) 2 ページ目「1. 平成 20 年 6 月中間期の個別業績 (1) 個別経営成績」の 20 年 6 月中間期欄

【訂正前】		【訂正後】	
営業利益	△90 百万円	営業利益	△102 百万円
経常利益	△87 百万円	経常利益	△100 百万円
中間 (当期) 純利益	△100 百万円	中間 (当期) 純利益	△102 百万円
1 株当たり中間 (当期) 純利益	△12 円 41 銭	1 株当たり中間 (当期) 純利益	△12 円 65 銭

(4) 2 ページ目「1. 平成 20 年 6 月中間期の個別業績 (2) 個別財政状態」の 20 年 6 月中間期欄

【訂正前】		【訂正後】	
1 株当たり純資産	144 円 21 銭	1 株当たり純資産	143 円 99 銭
(参考) 自己資本 20 年 6 月中間期	1,305 百万円	(参考) 自己資本 20 年 6 月中間期	1,303 百万円

(5) 3 ページ目「1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析 ① 当中間連結会計期間の経営成績」

※訂正箇所には下線を付しております。

【訂正前】

これらの結果、当中間連結会計期間の業績につきましては連結売上高 842 百万円 (前年同期比 74.8%減)、連結営業損失 185 百万円 (前年同期は連結営業損失 142 百万円)、連結経常損失 175 百万円 (前年同期は連結経常損失 150 百万円)、連結 当期純損失 199 百万円 (前年同期は連結中間純損失 341 百万円) となっております。

【訂正後】

これらの結果、当中間連結会計期間の業績につきましては連結売上高 842 百万円 (前年同期比 74.8%減)、連結営業損失 197 百万円 (前年同期は連結営業損失 142 百万円)、連結経常損失 187 百万円 (前年同期は連結経常損失 150 百万円)、連結 中間純損失 201 百万円 (前年同期は連結中間純損失 341 百万円) となっております。

前連結会計年度において、事業の集中と選択を推進した結果、債権・不動産投資事業を行ってございました株式会社ユニファイド・キャピタル・ジャパンを売却いたしました。また、施設運営事業を行ってございました株式会社ソフトハウスを売却し、株式会社中野サンブラザを持分法適用関連会社に変更いたしました。

(6) 3 ページ目「1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析 (機器販売その他事業)」

※訂正箇所には下線を付しております。

【訂正前】

当社グループは、コンサルティング事業において付随的に発生いたします機器販売等の事業を行っております。また、当中間連結会計期間に取得した投資事業についても、運用インフラの整備等で規模が小さいことから、その他事業としております。当中間連結会計期間の売上高は 30 百万円 (前年同期比 69.2%増)、営業損失 97 百万円 (前年同期は営業利益 1 百万円) となっております。

【訂正後】

当社グループは、コンサルティング事業において付随的に発生いたします機器販売等の事業を行っております。また、当中間連結会計期間に取得した投資事業についても、運用インフラの整備等で規模が小さいことから、その他事業としております。当中間連結会計期間の売上高は 30 百万円 (前年同期比 224.4%増)、営業損失 109 百万円 (前年同期は営業利益 0 百万円) となっております。

(7) 4 ページ目「1. 経営成績 (2) 財政状態に関する分析

当社グループのキャッシュ・フロー・トレンド 20 年 12 月中間期欄

【訂正前】		【訂正後】	
自己資本比率	44.09%	自己資本比率	44.0%

(8) 12 ページ目「4. 中間連結財務諸表(1) 中間連結貸借対照表」の当中間連結会計期間末欄

【訂正前】		【訂正後】	
(純資産の部)		(純資産の部)	
3. 利益剰余金	△374,761 千円	3. 利益剰余金	△376,760 千円
株主資本合計	1,368,975 千円	株主資本合計	1,366,976 千円
Ⅲ新株予約権	33,069 千円	Ⅲ新株予約権	35,068 千円
「利益剰余金」の構成比	△12.1%	「利益剰余金」の構成比	△12.2%
「株主資本合計」の構成比	44.4%	「株主資本合計」の構成比	44.3%

(9) 13 ページ目「4. 中間連結財務諸表(2) 中間連結損益計算書」の当中間連結会計期間末欄

【訂正前】		【訂正後】	
Ⅲ 販売費及び一般管理費	314,940 千円	Ⅲ 販売費及び一般管理費	327,178 千円
営業利益	△185,185 千円	営業利益	△197,423 千円
経常利益	△175,113 千円	経常利益	△187,350 千円
		7. 新株予約権戻入益	10,239 千円
特別利益の合計	4,462 千円	特別利益の合計	14,701 千円
匿名組合損益分配前税金等調整前中間(当期)純利益	△185,613 千円	匿名組合損益分配前税金等調整前中間(当期)純利益	△187,611 千円
税金等調整前中間(当期)純利益	△185,613 千円	税金等調整前中間(当期)純利益	△187,611 千円
中間(当期)純利益	△199,272 千円	中間(当期)純利益	△201,270 千円
「販売費及び一般管理費」の百分比	37.4%	「販売費及び一般管理費」の百分比	38.8%
「営業利益」の百分比	△22.0%	「営業利益」の百分比	△23.4%
「経常利益」の百分比	△20.8%	「経常利益」の百分比	△22.2%
「特別利益」の百分比	0.5%	「特別利益」の百分比	1.7%
「匿名組合損益分配前税金等調整前中間(当期)純利益」の百分比	△22.0%	「匿名組合損益分配前税金等調整前中間(当期)純利益」の百分比	△22.3%
「税金等調整前中間(当期)純利益」の百分比	△22.0%	「税金等調整前中間(当期)純利益」の百分比	△22.3%
「中間(当期)純利益」の百分比	△23.6%	「中間(当期)純利益」の百分比	△23.9%

(10) 15 ページ目「4. 中間連結財務諸表(3) 中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間」利益剰余金欄

【訂正前】		【訂正後】	
中間純利益	△199,272 千円	中間純利益	△201,270 千円
中間連結会計期間中の変動額合計	△199,272 千円	中間連結会計期間中の変動額合計	△201,270 千円
平成 20 年 6 月 30 日残高	△374,761 千円	平成 20 年 6 月 30 日残高	△376,760 千円

株主資本合計欄

【訂正前】		【訂正後】	
中間純利益	△199,272 千円	中間純利益	△201,270 千円
中間連結会計期間中の変動額合計	38,847 千円	中間連結会計期間中の変動額合計	36,849 千円
平成 20 年 6 月 30 日残高	1,368,975 千円	平成 20 年 6 月 30 日残高	1,366,976 千円

新株予約権欄

【訂正前】		【訂正後】	
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	1,998 千円
中間連結会計期間中の変動額合計	—	中間連結会計期間中の変動額合計	1,998 千円
平成 20 年 6 月 30 日残高	33,069 千円	平成 20 年 6 月 30 日残高	35,068 千円

純資産合計欄

【訂正前】

中間純利益	△199,272 千円
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）	320,325 千円

【訂正後】

中間純利益	△201,270 千円
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）	322,323 千円

(11) 17 ページ目「4. 中間連結財務諸表（4）中間連結キャッシュ・フロー計算書 I 営業活動によるキャッシュ・フロー」の当中間連結会計期間欄

【訂正前】

税金等調整前中間（当期）損失	△185,613 千円
----------------	-------------

【訂正後】

税金等調整前中間（当期）損失	△187,611 千円
株式報酬費用	12,237 千円
新株予約権戻入益	△10,239 千円

(12) 30 ページ目「注記事項（中間連結損益計算書関係）※2. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額」の当中間連結会計期間末欄

【訂正前】

役員報酬	54,120 千円
給与手当	65,243
地代家賃	11,267
広告宣伝費	2,139
報酬料金	42,166
賞与引当金繰入額	17,767
貸倒引当金繰入額	1,273
のれん償却額	7,119

【訂正後】

役員報酬	54,120 千円
給与手当	65,243
地代家賃	11,267
広告宣伝費	2,139
報酬料金	42,166
賞与引当金繰入額	17,767
貸倒引当金繰入額	1,273
のれん償却額	7,119
株式報酬費用	12,237

(13) 33 ページ目「注記事項（中間連結株主資本等変動計算書関係）当中間連結会計期間」2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

※訂正箇所には下線を付しております。

【訂正前】

区分	新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数（株）				当中間連結会計期間末残高（千円）
			前連結会計年度末	当中間連結会計期間増加	当中間連結会計期間減少	当中間連結会計期間末	
提出会社（親会社）	平成 18 年第 2 回新株予約権	普通株式	312,000	—	—	<u>312,000</u>	<u>10,239</u>
	平成 19 年第 3 回新株予約権	普通株式	1,478,100	—	—	1,478,100	22,830
	ストック・オプションとしての新株予約権	普通株式	—	1,000,000	—	1,000,000	—
	ストック・オプションとしての新株予約権	普通株式	—	<u>400,000</u>	—	<u>400,000</u>	—
連結子会社	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	1,790,100	<u>1,400,000</u>	—	<u>3,190,100</u>	<u>33,069</u>

(注) 1. ストック・オプションとしての新株予約権は、株主総会決議によるもので1,000,000株を上限として取締役へのインセンティブを与えるものであります。

2. ストック・オプションとしての新株予約権は、株主総会決議によるもので400,000株を上限として取締役への退職慰労金に代わる制度として付与されたものであります。

【訂正後】

区分	新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当中間連結会計期末残高(千円)
			前連結会計年度末	当中間連結会計期間増加	当中間連結会計期間減少	当中間連結会計期間末	
提出会社(親会社)	平成18年第2回新株予約権	普通株式	312,000	—	312,000	0	0
	平成19年第3回新株予約権	普通株式	1,478,100	—	—	1,478,100	22,830
	ストック・オプションとしての新株予約権(注)	普通株式	—	1,000,000	—	1,000,000	12,237
連結子会社	—	—	—	—	—	—	—
合計		—	1,790,100	1,000,000	312,000	2,478,100	35,068

(注) スtock・オプションとしての新株予約権は、株主総会決議によるもので1,000,000株を上限として取締役へのインセンティブを与えるものであります。

(14) 40ページ目「注記事項(ストック・オプション等関係) 当連結会計年度」

※訂正箇所には下線を付しております。

【訂正前】

ストック・オプションの内容及び規模

当中間連結会計期間において付与したストック・オプションは、以下のとおりであります。

	平成20年ストック・オプション
付与対象者の区分及び人数	取締役 3名
ストック・オプションの付与数(注)1	普通株式 1,000,000株
付与日	平成20年4月18日
権利確定条件	(注)2
対象勤務期間	定めておりません
権利行使期間	自 平成22年4月19日 至 平成32年4月18日
権利行使価格	175円
公正な評価単価(付与日)	—

(注) 1. 株式数に換算して記載しております。

2. ① 新株予約権の割当てを受けた者は、権利行使時において当社の地位にあることとする。ただし、任期満了による退任、定年退職その他取締役会が正当な理由があると認めた場合はこの限りでない。
- ② 新株予約権の割当てを受けた者は、権利行使時において、当該行使に係る新株予約権割当ての日以降、破産宣告を受けていないこと、法令及び当社の内部規律に違反する行為がないことを要する。
- ③ 本新株予約権の質入れ、担保の設定その他の処分をすることができないものとする。
- ④ 新株予約権の割当てを受けた者の相続人は、本新株予約権を行使することができないものとする。

【訂正後】

1. ストック・オプションに係る当中間連結会計期間における費用計上額及び科目名

販管費及び一般管理費 12,237 千円

2. ストック・オプションの内容及び規模

当中間連結会計期間において付与したストック・オプションは、以下のとおりであります。

	平成 20 年ストック・オプション
付与対象者の区分及び人数	取締役 3 名
ストック・オプションの付与数 (注) 1	普通株式 1,000,000 株
付与日	平成 20 年 4 月 18 日
権利確定条件	(注) 2
対象勤務期間	定めておりません
権利行使期間	自 平成 22 年 4 月 19 日 至 平成 32 年 4 月 18 日
権利行使価格	175 円
公正な評価単価 (付与日) (注) 3	97.90 円

(注) 1. 株式数に換算して記載しております。

2. ① 新株予約権の割当てを受けた者は、権利行使時において当社の地位にあること要する。ただし、任期満了による退任、定年退職その他取締役会が正当な理由があると認めた場合はこの限りでない。
- ② 新株予約権の割当てを受けた者は、権利行使時において、当該行使に係る新株予約権割当ての日以降、破産宣告を受けていないこと、法令及び当社の内部規律に違反する行為がないことを要する。
- ③ 本新株予約権の質入れ、担保の設定その他の処分をすることができないものとする。
- ④ 新株予約権の割当てを受けた者の相続人は、本新株予約権を行使することができないものとする。
3. 新株予約権の公正な評価方法の 1 つであるブラック・ショールズモデルに基づき算出しております。

(15) 41 ページ目「注記事項 (セグメント情報) a. 事業の種類別セグメント情報」 当中間連結会計期間

機器販売その他事業欄

【訂正前】

【訂正後】

営業費用	219,123 千円	営業費用	231,360 千円
営業利益	△97,612 千円	営業利益	△109,849 千円

計欄

【訂正前】

【訂正後】

営業費用	1,133,917 千円	営業費用	1,146,155 千円
営業利益	△174,023 千円	営業利益	△186,260 千円

連結欄

【訂正前】

【訂正後】

営業費用	1,027,809 千円	営業費用	1,040,047 千円
営業利益	△185,185 千円	営業利益	△197,423 千円

(注) 5. ストック・オプション等に関する会計基準
「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載のとおり、当中間連結会計期間より「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号 平成17年12月27日)及び「ストック・オプション等に関する会計基準の適用指針」8企業会計基準適用指針第11号 平成18年5月31日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「機器販売その他事業」で12,237千円営業費用が増加し、営業利益が同額減少しております。

(16) 45 ページ目「注記事項(1株当たり情報)」

当中間連結会計期間欄

【訂正前】

1株当たり純資産額	150.17円
1株当たり中間純損失金額	24.67円
「1株当たり中間(当期)純利益金額の算定上の基礎」	
1株当たり中間(当期)純利益金額	△24.67円
中間(当期)純利益	△199,272千円
普通株式に係る中間(当期)純利益	△199,272千円
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	①第2回新株予約権 312,000株 ②第3回新株予約権 1,478,100株 ③第4回新株予約権 1,000,000株

【訂正後】

1株当たり純資産額	149.95円
1株当たり中間純損失金額	24.91円
「1株当たり中間(当期)純利益金額の算定上の基礎」	
1株当たり中間(当期)純利益金額	△24.91円
中間(当期)純利益	△201,270千円
普通株式に係る中間(当期)純利益	△201,270千円
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	①第3回新株予約権 1,478,100株 ②第4回新株予約権 1,000,000株

(17) 56 ページ目「5. 中間個別財務諸表(1) 中間貸借対照表」の当中間会計期間末欄

【訂正前】

(純資産の部)	
繰延利益剰余金	△437,293千円
利益剰余金合計	△436,743千円
株主資本合計	1,306,994千円
Ⅲ新株予約権	33,069千円
「利益剰余金合計」の構成比	△18.9%
「株主資本合計」の構成比	56.5%
「新株予約権」の構成比	1.4%

【訂正後】

(純資産の部)	
繰延利益剰余金	△439,291千円
利益剰余金合計	△438,741千円
株主資本合計	1,304,995千円
Ⅲ新株予約権	35,068千円
「利益剰余金合計」の構成比	△19.0%
「株主資本合計」の構成比	56.4%
「新株予約権」の構成比	1.5%

(18) 57 ページ目「5. 中間個別財務諸表(2) 中間損益計算書」の当中間会計期間欄

【訂正前】

Ⅲ 販売費及び一般管理費	136,113千円
営業利益	△90,108千円
経常利益	△87,892千円
Ⅵ 特別利益	4,243千円
税引前中間(当期)純利益	△96,224千円
中間(当期)純利益	△100,256千円
「販売費及び一般管理費」の百分比	146.4%

【訂正後】

Ⅲ 販売費及び一般管理費	148,351千円
営業利益	△102,346千円
経常利益	△100,130千円
特別利益	14,482千円
税引前中間(当期)純利益	△98,222千円
中間(当期)純利益	△102,255千円
「販売費及び一般管理費」の百分比	159.6%

「営業利益」の百分比	△96.9%	「営業利益」の百分比	△110.1%
「経常利益」の百分比	△94.6%	「経常利益」の百分比	△107.7%
「特別利益」の百分比	4.6%	「特別利益」の百分比	15.6%
「税引前中間（当期）純利益」の百分比	△103.5%	「税引前中間（当期）純利益」の百分	△105.7%
「中間（当期）純利益」の百分比	△107.8%	「中間（当期）純利益」の百分比	△110.0%

(19) 59 ページ目「5. 中間個別財務諸表（3）中間株主資本等変動計算書 当中間会計期間」

その他利益剰余／繰越利益剰余金欄

【訂正前】		【訂正後】	
中間純利益	△100,256 千円	中間純利益	△102,255 千円
中間会計期間中の変動額合計	△100,256 千円	中間会計期間中の変動額合計	△102,255 千円
平成 20 年 6 月 30 日残高	△437,293 千円	平成 20 年 6 月 30 日残高	△439,291 千円

利益剰余金合計欄

【訂正前】		【訂正後】	
中間純利益	△100,256 千円	中間純利益	△102,255 千円
中間会計期間中の変動額合計	△100,256 千円	中間会計期間中の変動額合計	△102,255 千円
平成 20 年 6 月 30 日残高	△436,743 千円	平成 20 年 6 月 30 日残高	△438,741 千円

株主資本合計欄

【訂正前】		【訂正後】	
中間純利益	△100,256 千円	中間純利益	△102,255 千円
中間会計期間中の変動額合計	137,863 千円	中間会計期間中の変動額合計	135,864 千円
平成 20 年 6 月 30 日残高	1,306,994 千円	平成 20 年 6 月 30 日残高	1,304,995 千円

新株予約権欄

【訂正前】		【訂正後】	
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）	—	株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）	1,998 千円
中間会計期間中の変動額合計	—	中間会計期間中の変動額合計	1,998 千円
平成 20 年 6 月 30 日残高	33,069 千円	平成 20 年 6 月 30 日残高	35,068 千円

純資産合計欄

【訂正前】		【訂正後】	
中間純利益	△100,256 千円	中間純利益	△102,255 千円
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）	△2,508 千円	株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）	△510 千円

(20) 66 ページ目「注記事項（中間損益計算書）※4. 特別利益のうち主要なもの」の当中間会計期間末欄

【訂正前】	【訂正後】	
	新株予約権戻入益	10,239 千円

(21) 69 ページ目「注記事項（1株当たり情報）」当中間会計期間の欄

【訂正前】		【訂正後】	
1株当たり純資産額	144.21 円	1株当たり純資産額	143.99 円
1株当たり中間純損失金額	12.41 円	1株当たり中間純損失金額	12.65 円
「1株当たり中間（当期）純利益金額の算定上の基礎」		「1株当たり中間（当期）純利益金額の算定上の基礎」	

中間（当期）純利益	△100,256 千円	中間（当期）純利益	△102,255 千円
普通株式に係る中間（当期）純利益	△100,256 千円	普通株式に係る中間（当期）純利益	△102,255 千円
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり中間（当期）純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	①第 2 回新株予約権 312,000 株 ②第 3 回新株予約権 1,478,100 株 ③第 4 回新株予約権 1,000,000 株	希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり中間（当期）純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	①第 3 回新株予約権 1,478,100 株 ②第 4 回新株予約権 1,000,000 株